

カーネギー大ホールで歌う

小田伊津子（42文）

福の会のステージ

2019/4/3 公演のNYカーネギーホールでの合唱フェスティバルは日米9つの合唱団が参加で、私たちはその一つとして、ヴィエントの指導者の谷口ひとみ先生が団長、指揮はヴィエントの指導を過去に3年間したこともある福嶋浩美先生で企画され団員募集があり、ヴィエントから、谷口先生をいれて5名が参加し、この演奏会の為に結成された合唱団は全員で24名集まり、半年間練習に励んできました。



ヴィエントからの参加者と福嶋先生

4/1夜にNYに着いて、翌日は近くで練習、当日は舞台でのリハーサル、初めて見る会場は、舞台が大きく客席は4階まであり、2800人は入れると聞いていたが、さすがに圧倒された。こんな広い会場に何人聴きに来てくれるのかと不安になった。



リハーサルなのに緊張と興奮で自分の音が不確かになるほど上がってしまい、他の団員も同じよう音が揃わず福嶋先生を焦らせてしまった。しかしながら、本番では、先生の「ここまで来たからには堂々と思い切り楽しんで歌うよう

に」との励ましを頂いて、皆、落ち着いて練習の成果を出せる結果となり、ホッとしました。客席も6,7割ほど人が入っていて、音響が良く、気持ちよく歌い切ることが出来、達成感から全員満足気でした。

フィナーレ

他の合唱団もそれぞれに個性があり、相当の練習を積んできたことを思わせる演奏で客席を沸かせ、最後は出演者全員が舞台にのり、客席と一体になっての大合唱は会場が響き渡り、福嶋先生指揮の「翼をください」で締めくくった感動の舞台でした。

打ち上げでは、緊張が解け、皆、弾けた笑顔で、またこの演奏会の為に応援に駆けつけてくれたヴィエントのご家族や友人もいて賑やかな楽しい夜となりました。素晴らしい貴重な経験が出来たことに、感謝いたしました。

